

質問

伴走型子育て支援事業の取り組み状況と今後の展望について

答弁

産後ケア事業として宿泊型、日帰り型、訪問型の3とおりのメニューで相談事業を行っており、令和6年度から対象となる条件を緩和する予定である。

質問

改正児童福祉法において新設された子育て世帯訪問支援事業メニューについて

答弁

事業効果を勘案し検討する。



解説

母子の愛着形成の大切な0歳から1歳の時期は母体が回復途上にありながら、育児において1番多忙で困難を極める時期と重なり、産後うつを発症することも少なくありません。

相談事業である伴走型子育て支援事業と連携し、訪問により家事育児を直接支援する事業を早期に整備するよう求めました。



3月議会において令和6年度予算が審議、承認されました。税込減少が予測される中、予算額は240億円を超え過去最大であった昨年に次ぐ規模です。市の財政は大変厳しい状況です。

原因の1つとしては館山中学校新築工事における資材高騰と人件費高騰で建設予定費が大きく上昇した事があげられます。

さまざまな事業項目について、市民の為に真に事業効果が有るのか、館山市の発展に繋がるもので有るのか、きめ細かく福祉や防災に目が向けられているのか等の視点を持ち、予算委員として、34件の質問をさせていただきました。これからも尊い市税の使われ方に注視して参ります。

皆様からのご要望が実現しました！！

川底が見えないほど樹木に覆われた船形どんどん川



船形どんどん川 樹木 伐採後



樹木と堆積物に覆われた西長田 田中橋付近の河川 (大雨の後、越水していた)



西長田 田中橋付近 河川堆積物除去・樹木伐採 後

